

平成24年度産学連携事業
大学教員の企業現場研修の報告

平成25年3月15日

公益社団法人 私立大学情報教育協会

トーテックアメニティ株式会社の協力による産学連携事業
「コンピュータセキュリティ基礎研修」のご案内

平成24年8月
公益社団法人 私立大学情報教育協会

1. 研修テーマ コンピュータセキュリティ基礎の研修

最新のコンピュータセキュリティの現場情報と技術動向を学び、学内で学生指導に役立てる。また、大学内では疑似体験しにくいシチュエーションを提供いただき、体験を通じセキュリティ全般について理解を深める。

2. 研修概要とスケジュール

9月6日(木)

10:30～12:00 **セキュリティ概要・ウイルス対策について説明**

サイバースペースでの活動、サイバースペースでの個人特定等、最近の動向および最低限必要なウイルス対策、不正アクセスの種類、不正プログラムの侵入、感染の防御策の説明を学び意見交換します

13:00～17:00 **パスワード管理・Web 閲覧の危険性・メールの危険性等について**

ID、パスワードの漏洩を防ぐ対策やPCの弱点からの侵入を防ぐ対策、フットプリンティング等について学びます。Web 閲覧やメールの危険性についてもシミュレーションの体験を通じ学び意見交換します。更にソフトウェアのアップデートをまめに対応することの重要性についても学びます。

9月7日(金)

10:30～12:00 **外部からの攻撃・巧みな誘導について**

各種攻撃の解説、フィッシング、ファームウェア等の巧みな誘導についての説明と実際に疑似体験を通じ理解を深め、対策などについて意見交換します。

13:00～16:30 **ハードディスク管理・隠れた情報の存在について**

ハードディスクに残っている情報、情報を別ファイルに見せかける方法等について説明をします。実施にPC疑似体験で理解を深めます。

16:30～17:00 **質疑応答・意見交換**

参加される大学教員と日常のPC管理を含め様々なセキュリティ関連について意見交換します。

3. 研修企業 トーテックアメニティ株式会社

4. 開催時期 平成24年9月6日(木)～7日(金) 2日間

5. 開催場所 トーテックアメニティ株式会社
東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー21F

6. 募集人員 10名

7. 費用関係他

- ・交通費、宿泊費は大学負担 (各自手配)
- ・会場、資料、講師、昼食、湯茶費用は企業負担

コンピュータセキュリティ基礎アンケート結果

◆実施日: H24. 9/6-7

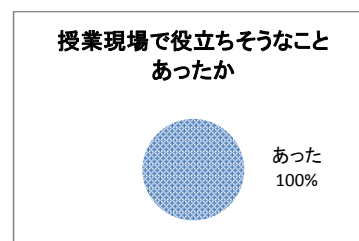
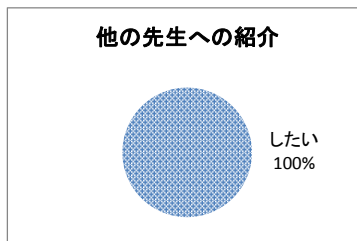
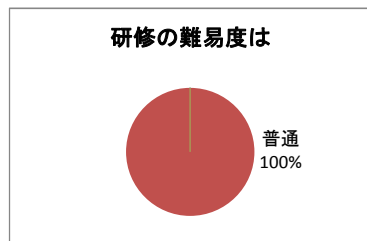
◆会場: トーテックアメニティ(株)東京本社

2012.9.14

◆テーマ: コンピュータセキュリティ基礎 ◆出席者: 7名

私情協 事務局

1. 2日間の産学連携事業「企業の現場研修」を通じての感想をお聞かせください。



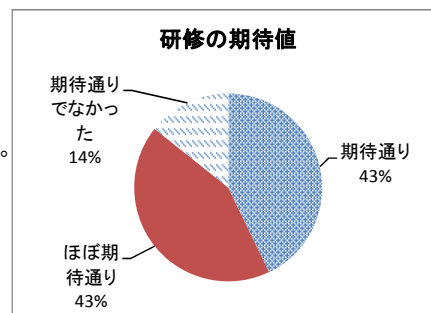
- ・クラッキングの具体例や方法などが授業で役立ちそう
- ・セキュリティおよびリスクと脆弱性を実例で示していただいたことが参考になった。
- ・少人数であればすぐに取り入れたいが、50人以上になるとTAが2~3名必要と感じた。
- ・何もしないと自分に危害が加わり、ウイルス対策ソフト等を適用する必要性が十分理解できた。
- ・全体的に有用であった。個々の攻撃手法などは4年生向けの実習に取り入れたい。
- ・ネット攻撃について具体的に体験できたことが役に立った。テキスト全部をやってほしかった。
- ・セキュリティに関する専門知識を体得できた。

2. 今回の研修は最新のコンピュータセキュリティについて現場情報や最新技術等の動向

及び技能について習得いただく目的でしたが期待通りでしたでしょうか？忌憚のないご意見をお聞かせください。

また今後どのような具体テーマや内容にすべきかご意見があれば記入願います。

- ・予想していた内容と違っていたが、違う意味では興味深かった。
企業におけるセキュリティ対策や問題点等の動向を期待していた。
- ・Linuxを日常使用してなかったが、よくわかった。教材開発したいと思った。
- ・もう少しコマンドの意味等が理解できる別資料があれば良かった。
- ・今後、プログラミングの研修にも参加してみたい。
- ・大学全体のセキュリティを保つ方策などについての講習があると良い。



3. 研修全般について感想や今後、私情協に期待する事などについて

- ・今回の研修では具体的なコマンドを使用していたので参加するに当たり、必要な知識など設定した方が良い。
今後も積極的に勉強していきたい。
- ・本研修に関して勉強する機会がなかったが今回の機会を頂けて有難かった。さらに勉強する機会があれば参加したい。
- ・全体に使えるようなFreeソフトを教えていただき参考になった。次回の講座など組み立てて下さい。
- ・説明資料に目次ページがあれば良かった。
- ・このような機会を提供していただき感謝している。今後も同様な機会があればぜひ参加したい。また当方が役に立つ機会があれば声掛けをしてください。
- ・とても為になりました。このつぎの講習が開かれるとありがたい。
- ・こうした研修会をこれからも継続して開催してほしい。

トーテックアメニティ株式会社の協力による産学連携事業
「組込システム開発基礎研修」のご案内

平成24年8月
公益社団法人 私立大学情報教育協会

1. 研修テーマ 組込システム開発基礎の研修

組込システム開発で重要とされる要求仕様をまとめ、システム化する技術と課程を学ぶ。

2. 研修概要とスケジュール

9月11日(火)

10:30～12:00 **組込システム概要について説明**

組込システムとは何か、開発環境、技術動向の最新情報について説明いただき最新の情報を学びます。

13:00～14:30 **組込システム開発工程について**

組込とアプリケーションとの違い、V字工程、設計と検証、システム方式設計、ソフトウェア方式設計ソフトウェアコーディング、テスト、ソフトウェア結合テスト、ドキュメントまで一連の流れについて説明いただき全体像を把握します。

14:30～17:00 **組込システム開発演習について**

グループに分かれ実際に演習をします。紙と鉛筆でまとめます。

9月12日(水)

10:30～12:00 **組込システム開発演習について**

電車シミュレータ要求仕様書作成の演習を体験します。

13:00～16:00 **組込システム開発演習について**

限られた提示条件の範囲からどのようにして具体的に要求仕様をまとめ、システム化するまでのポイントをコミュニケーションしながらまとめる演習をします。

16:00～16:30 **成果発表**

クライアントに対し、組込みシステム開発全体の採用に向けたプレゼンを実施します。ここでは積算もシミュレーションし、よりビジネス社会に近いプレゼンを学びます。

16:30～17:00 **質疑応答・感想**

質疑応答と、各人が気付いたことや感想を発表していただきます。

3. 研修企業 トーテックアメニティ株式会社

4. 開催時期 平成24年9月11日(火)～12日(水) 2日間

5. 開催場所 トーテックアメニティ株式会社
東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー21F

6. 募集人員 10名

7. 費用関係他

- ・交通費、宿泊費は大学負担 (各自手配)
- ・会場、資料、講師、昼食、湯茶費用は企業負担

組込システム開発基礎アンケート結果

◆実施日：H24. 9/11-712

◆会場：トーテックアメニティ(株)東京本社

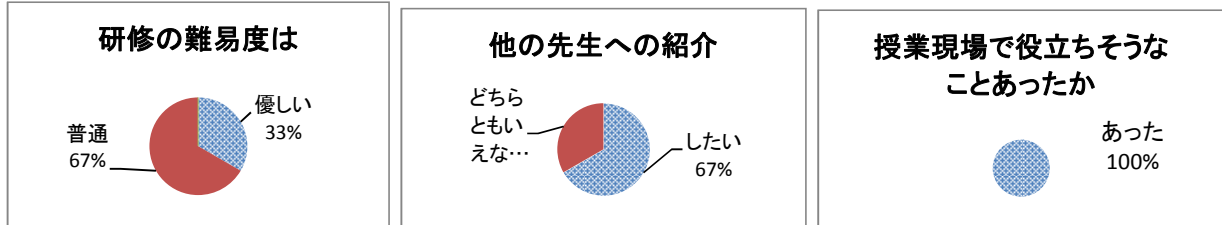
2012.9.14

◆テーマ：組込システム開発基礎

◆出席者：3名

私情協 事務局

1. 2日間の産学連携事業「企業の現場研修」を通じての感想をお聞かせください。



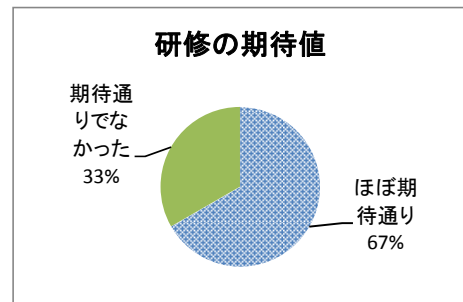
- ・企業現場での緊張感みたいなものを感じとれた。
学問としての組込とビジネスとしての組込開発の違いを感じとれた。
- ・モチベーションの高め方、プレゼンの進め方、メンタルヘルスケアの問題など
教育現場で役立ちそうである。
- ・企業で必要なスキル(主にコミュニケーション力)がどのようなものか聞いて良かった。
コスト意識も初めて考えてので良い経験になった。

2. 今回の研修は組込システム開発について習得いただく目的でしたが期待通りでしたでしょうか？

忌憚のないご意見をお聞かせください。

また今後どのような具体テーマや内容にすべきかご意見があれば記入願います。

- ・現場で一番大切なのはプログラミング技術とかでなく、
要求仕様をしっかりと確定させることが重要であることがわかった。
- ・現場情報はとても参考になりました。
- ・期待通りではなかったが、良い経験になり、参加して良かった。
- ・参加者の選別は必要と思うが専門性の高いコーディング
実習などはやってみたい。



3. 研修全般について感想や今後、私情協に期待する事などについて

- ・IT系の別分野の研修も受講してみたい。とても良い機会を提供していただき有難うございました。
- ・常見講師の親切丁寧なご指導で概要を少し学べた。異分野の先生方との協同作業で一つのことを成し遂げた達成感があり楽しかった。今後も可能な限り研修会に参加していきたい。
- ・開催時期には特に問題ないと思う。
他大学の先生方とお話する機会は少ないので、交流会(懇親会)の機会も検討頂きたい。

富士通株式会社の協力による産学連携事業
「イノベーションの核となる先端的ICT事例の現場研修」のご案内

平成24年12月
公益社団法人 私立大学情報教育協会

1. 研修テーマ イノベーションの核となる先端的 ICT事例の現場研修

社会が大きく変化する中で、ICTがイノベーションの核となり新しい成長分野の創造に不可欠な存在となっている事例、社会システムとして欠かせない存在になっている事例を紹介し、学生にICTの夢と希望を伝えられる現場研修とする。また、ビッグデータ等の新技術の進展にともない、ICT業界が特に求めているデータ分析の専門家(サイエンティストやアナリスト、キュレーター)などの新しい職種の人材育成について意見交換を行う。募集対象は幅広い学部の教員とする。

2. 研修概要とスケジュール

3月7日(木)

10:30~12:00 **企業が求める人材について意見交流**

富士通の人材育成体系の紹介と、大学で身につけて欲しい基礎知識、能力等について意見交換・議論を行います。

13:00~17:00 **ICT先進事例の紹介と技術者との意見交換(1)**

① **スパコン「京」で創る未来・夢**

世界最高性能のスーパーコンピューター「京」を用いたシミュレーションや開発アプリの現場情報を開発責任者から紹介し事例を用いて最新、最先端のICT技術の可能性と将来性について意見交換します。

② **ビッグデータの活用「データをして語らしめる」**

リアルタイムに時々刻々と生成される大量のデータから、いかに知見を見出しビジネス戦略に活かすか、情報システムの在り方を大きく変えるビッグデータ活用の進展について最新の事例紹介と意見交換を行います。

③ **農業でのICT活用(農業クラウドなど)**

農作物の生産状況やコスト構造の「見える化」により農業経営の効率化が見込めるICTを活用した農業経営支援等の最新のシステムの事例紹介と意見交換を行います。

※研修終了後、簡単な交流会を予定しております(@¥3,000.-)

3月8日(金)

10:30~12:00 **医療分野の先進事例紹介と技術者との意見交換(2)**

④ **医療分野でのICTの活用**

健診/レセプトデータ等の健康情報を組み合わせ、将来の疾病リスクの予測等を紹介しバイタルデータを使った健康支援などについて最新の技術を紹介し意見交換します。

13:00~16:00 **富士通(株)新人との意見交換**

入社3年~5年の若手社員と「大学の学びが現在役に立っていること」、「大学で学んでおくべき点」等意見交換をします。また、新しいICTの使い方をワークショップ形式で参加者全員で考える時間をとります。

3. 研修企業 富士通株式会社

4. 開催時期 平成25年3月7日(木)~8日(金) 2日間

5. 開催場所 富士通トラステッド・クラウド・スクエア レセプションルーム
東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル30階
(JR 山手線・京浜東北線/東京モノレール「浜松町駅」より直結)

6. 募集人員 20名

7. 費用関係他

- ・交通費、宿泊費、食事費用は大学負担 (各自手配)
- ・会場、資料、講師、湯茶費用は企業負担 (初日の交流会費用(@3,000円)は各自負担)

イノベーションの核となる先端的ICT事例の現場研修 アンケート結果

◆実施日：2013年3月6日～7日 2日間

◆会場：富士通トラステッド・クラウド・スクエア

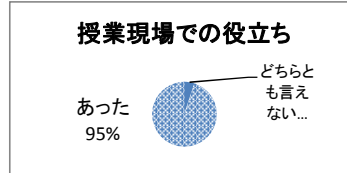
2013.3.7

◆テーマ：イノベーションの核となる先端的ICT事例

◆出席者：20名

私情協 事務局

1. 2日間の産学連携事業「企業の現場研修」を通じての感想をお聞かせください。



- ・大学に求める人材について先進的な企業の取り組みが聞けて有意義であ
- ・ワンパターンの授業や課題は改めなければと思った。「考えさせる」課題&レポート提出が不可欠と思った。
- ・ビッグデータの説明、農業へのICTの利用、スパコンの説明等それぞれに興味深く学生にも説明したく思う。
- ・ICTの先端技術がどのような分野で「活用され、進歩しているか」知ることが出来、教材として活用できる。
- ・ショールーム見学説明でよりリアルに知ることが出来た。
- ・若手社員の方々との交流会については貴重な意見を聴くことができ大変有意義であった。生の声を他の教員にも広めたい。
- 「スパコン」の実例、ビッグデータ、クラウド活用の実例など、ICT関係の先端技術を紹介していただいたので学生たちに紹介できる。
- ・先端的ICT事例について、具体的な話が出来るそうです。インターネットでは得られない「知識」そして「情熱」を伝えていきたいと思えます。

2. 今回の研修は先端的ICTがイノベーションの核となり新しい成長分野の創造に不可欠となっていることや社会システムとして欠かせない存在になっていることを習得いただく目的でしたが期待通りでしたでしょうか？ 忌憚のないご意見をお聞かせください。また今後どのような具体テーマや内容にすべきかご意見があれば記入願います。

- ・ICTの応用、新しい産学をつくる雇用、企業・大学間の協力等の重要性を学んだ
- ・ICT技術がどんどん進化している現在、大学に閉じこもっている視野が限定されてしまうので良い機会となった。
- ・今は文化として受入れられずとも、チャレンジ精神が世の中を変えていくその時系列を含めて知ることができました。
- ・今回初めて参加させて頂き大変参考になりました。ICTと農業等、今まで詳細に知らなかったことを学べて良かったです。
- ・情報が専門ではないのですが、それでもよくわかるような内容でした。
- 理想的な社会システムにしていくには先端的ICTなしには無理な気がしました。
- ・医療分野や農業分野を始め、社会に幅広く実践されている事例が非常に具体的に紹介されよく理解できた。



3. 研修全般について感想や今後、私情協に期待する事などについて

- ・実施時間、場所、テーマ共とてもよく有意義であった。また、人材育成の上で産学連携の重要性を再確認した。
- ・少人数での研修で大変親近感があり良かった。また、ショールーム見学、若手社員の方々との意見交換等、本音で聞けたことで教員として学ぶところがありました。
- ・人事システムを紹介して企業の全体像を理解して大変良いです。企業の方々との自由な交流が大変重要と感じた。大変良かった。
- ・実施時期は2月下旬が良い。今後の希望としてT-POINTやPONTA等の流通データの普及と活用について希望します。
- ・実施時期は3月中旬または9月上旬がよい。数年に1度は首都圏以外でも開催して欲しい。
- ・国際企業の世界での先端イノベーション事例紹介を元に、日本の活力向上つながらる方向性を知りたい。(⇒授業・研究内容に反映)
- ・大変貴重な経験ができ大変良かった。組織として取り組むためには課題がありますが、個人としては学生達にフィードバックしたい。

伊藤忠テクノロジーソリューションズ株式会社の協力による産学連携事業 「社会システムを支えるシステムインテグレータの事例と現場情報の研修」のご案内

平成24年12月
公益社団法人 私立大学情報教育協会

1. 研修テーマ 社会システムを支えるシステムインテグレータの事例と現場情報の研修

情報通信産業の市場規模は、全産業中最大規模で約1割を占め、中核となるシステムインテグレータが構築する大規模情報システムは企業活動に必須な基幹システムや国民生活を支える社会インフラとして重要な役割を担っている。今回の研修では、システムインテグレータが実際に取り組んでいるプロジェクトやその実行プロセスの説明、および新卒社員、入社5年目の社員との意見交流を通して、システムインテグレータが新卒社員に求める社会人基礎力の実態について学び、キャリア形成支援の教育力向上に向けた現場研修とする。

※(システムインテグレータ:SI)とは、主に大規模情報システム構築において、コンサルティングから設計、開発、運用・保守・管理までを一括請負する情報通信企業を意味する。

2. 研修概要とスケジュール

3月14日(木)

10:30～11:30 システムインテグレータが支える社会システムの事例紹介

具体的に情報システムが社会インフラとして役立っている「ANAインターネット予約システム」や「全国47都道府県警察本部のDNA型鑑定支援装置」等の事例を紹介し意見交換します。

11:30～12:30 システムインテグレータのプロジェクト事例紹介と求められる人材像について

失敗事例の紹介や原因分析を通して、SI企業が社員に求めるスキルとは何なのかについて紹介し意見交換します。

13:30～14:20 伊藤忠テクノロジーソリューションズ(株)の新卒採用基準と社員教育プログラム紹介

採用方針や選考基準等を紹介し、新卒社員研修と、その後の階層別の教育プログラムの説明と意見交換を行います。

14:20～15:30 大学教育はSIの企業現場で役立っているのか

新卒社員、入社5年目の若手社員、管理職の3名がそれぞれの経験から、大学教育と企業現場の要求のギャップについて発表し意見交換をします。

- ① 営業部員(2012年新卒入社)発表:「入社前に考えていた企業現場と実際の企業現場のギャップ」
- ② 営業部員(2007年入社)発表:「大学の学びで企業現場に役立ったものは何か」
- ③ 営業部長発表:「企業最前線の管理職が求める即戦力人材の条件」

15:30～16:30 社会人基礎力育成に関する意見交換

参加される大学教員とCTC社員の間で、企業が求める社会人基礎力のギャップを確認した上で、その連携方法について意見交換します。

3. 研修企業 伊藤忠テクノロジーソリューションズ株式会社

4. 開催時期 平成25年3月14日(木) 1日間

5. 開催場所 伊藤忠テクノロジーソリューションズ株式会社
東京都品川区大崎1-2-2 アトヴィレッジ大崎セントラルタワー(JR大崎駅 徒歩3分)

6. 募集人員 10名

7. 費用関係他

- ・交通費、宿泊費は大学負担 (各自手配)
- ・会場、資料、講師、昼食、湯茶費用は企業負担

社会システムを支えるシステムインテグレータの事例と現場情報の研修 アンケート結果

◆実施日:2013年3月14日

◆会場:伊藤忠テクノソリューションズ(株)

2013.3.14

◆テーマ:社会システムを支えるシステムインテグレータの事例と現場情報

◆出席者:11名

私情協 事務局

1. 1日間の産学連携事業「企業の現場研修」を通じての感想をお聞かせください。

(1)期待度: 期待通り どちらともいえない 期待通りでなかった

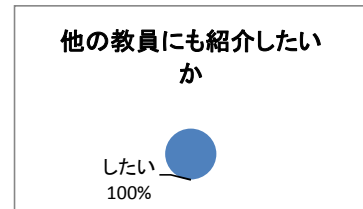
①期待度

期待通り
どちらとも言えない
期待通りでなかった



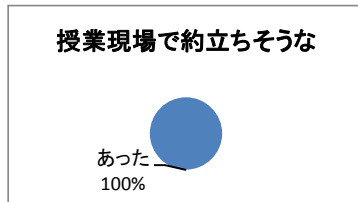
②今後このような研修を他教員にも紹介したいか

したい
どちらとも言えない
したくない



③大学の授業現場で役に立ちそうなことはあったか

あった
どちらとも言えない
なかった

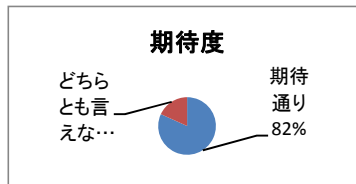


- ・現在も取り組み始めていますが、講義形式から議論・発表主体の授業を取り入れていきたいと思えます。
- ・「人間性」「コミュニケーション力」といったキーワードを意識してゼミ活動の指導に活かしたいと思えます。
- ・SIの具体的な業務内容が分かった。CTC様が求める人物像がはっきりした。同じ企業の方でも求める人物に少し違いがあるのも興味深かった。
- ・システムインテグレーション業界の概観、求められる人材像、スキルを本学並びに他4大学での授業で伝えることができると思いました。
- ・社会で求められる人材について学内の教職員や学生に対して伝える事により、よりコミュニケーション能力の育成を推進したいです。
- ・事例・失敗事例、「人間が大きなトラブルを通じて育つ」という言葉が大変印象を受け、更に多数の事例を紹介していただき有難いと感じました。代表例を少し詳しく紹介していただければなお良かった。

2. 今回の研修はシステムインテグレーターが構築する情報システムは企業活動や社会インフラとして重要な役割を担っていることを事例紹介や意見交流などを通じて理解いただく目的でしたが期待通りでしたでしょうか？

忌憚のないご意見をお聞かせください。また今後どのような具体テーマや内容にすべきかご意見があれば記入願います。

期待通り
どちらとも言えない
期待通りでなかった



- ・失敗事例というのは、やはり参考になった。
- ・話し、資料共に良く整理されていてわかりやすくなった。大学へ持ち帰って報告提案したい。期待以上でした。
- ・CTCは商社的(ミドルウエアが無いという意味)なので、自前のPKGを開発したり、特定ドメインのソフトを売っている企業さんの見解を聞きたいです。
- ・事例・失敗事例、「人間が大きなトラブルを通じて育つ」という言葉が大変印象を受け、更に多数の事例を紹介していただき有難いと感じました。代表例を少し詳しく紹介していただければなお良かった。
- ・文教を担当する課があったので、大学とのやり取りで使用自他問題点等の事例もうかがえたらと思いました。

3. 研修全般について

研修会を通しての感想や今後、私情協に対して期待する事等についてお聞かせください。

(実施時期、期間、テーマ、研修場所、その他)

- ・より幅広い分野の企業と交流できるようにしていただきたい。大阪の企業も行ってみたい。
- ・貴重な機会を設けて下さった事を感謝します。専門外のことでありながら、CTC様が細やかな準備と丁寧な対応がとても良かった。
- ・管理職の方々の生の声を聞くことができ非常に勉強になりました。これからも同様のイベントをお願い致します。
- ・プロジェクトを起こす場合や学生に伝えられる情報としてヒントがたくさんありました。今度はITリテラシーやグローバル化といったトピックで社会で求められている人材像を知りたいと思いました。
- ・企業のお話だけでなく、他大学の先生方の話も聞けたのがためになりました。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。実施時期、期間は時間と内容のバランスが取れていれば1日でも合宿でも可です。
- ・教員が企業現場の声を直接聞くことができる貴重な機会です。今後も是非継続し、拡大していただきたいと思えます。
- ・研修会は2月~3月の1~2日間で適切だろうと思えます。場所は都内、あるいは交通アクセスの良いところが望ましいです。